

■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]	■ 単位数
	森林関係行政論[Administration theory of forest related]	1
■ 担当教員(責任)[ローマ字表記]		
枚田邦宏[HIRATA Kunihiro]		
■ 担当教員[ローマ字表記]		
枚田邦宏[HIRATA Kunihiro]、愛媛県職員		

■ 授業題目(必須入力)

森林関係行政論(Administration theory of forest related)

■ 授業のキーワード(必須入力)

森林林業の再生(Reproduction of a forest and forestry),木材産業の活性化(Activation of the lumber industry),高度な担い手の育成(Development of human resources with advanced knowledge),適正な森林の管理(Management of a proper forest)

■ 授業の目的(必須入力)

受講生が関係している市町村や地域において、森林の位置づけを明確にする。
自然環境の適正管理を推進しながら林業を生業として成り立たせるために、国や県はどのような施策を持って導こうとしているかを学ぶ

■ 授業の到達目標(必須入力)

(1) 関係する市町村や地域において「森林」の位置づけを認識する。
(2) 森林に関する行政は何のために行うのか。政策目的を実現するために、国や県の施策がどのように進められているかを理解する。
(3) 関係する市町村や地域視点から、国、県の施策の問題点や課題や独自に考える必要があることが何かを認識する。
(4) 市町村、地域におけるマスタープランを描くための林務行政の能力を養成する。

■ 授業概要(必須入力)

個別に受講生が関係している市町村、地域の現状認識を振り返り、それを共有化することにより、林務行政の必要性を認識した後、国の森林行政を基本的な法律である森林法、森林・林業基本法を例示しなら解説する。その後、県が実施している森林に関する個別行政課題への取り組みについて解説する。これらの学習によって得た内容から、個別の市町村、地域で中心的に取り組むべき林務行政の内容をレポートとしてまとめる。

■ 授業スケジュール(必須入力)

第1回 各自が関係する森林を認識する。(何のための森林か 現在と将来)
第2回 森林政策の枠組みと基本的な法律の関係
第3回 市町村、地域の林務行政内容
第4回 市町村林務行政の事例
第5回 森林計画制度の概要
第6回 愛媛県の森林・林業・木材産業の現状と課題
第7回 愛媛県の木材産業の概要と木材関連施策の取り組み
県産材の安定供給と需要拡大
第8回 愛媛県の森林・林業・木材産業の担い手育成と労働力確保施策
第9回 愛媛県の労働安全衛生と林業事業体育成
第10回 愛媛県の森林整備事業の概要(補助金関連)
第11回 愛媛県の森林保全の取り組み
第12回 森林環境譲与税(国)と森林経営管理法における市町村の役割

■ 授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

授業開始前に各自が関係する市町村、地域の地図を用意(森林地帯、資源等がわかるもの)
(授業では地図に書き込みを行う)
各回で配布するプリント等について目を通すこと

■ 成績評価方法(必須入力)

関係する市町村、地域で行政等として森林に何を求めるか。その求めることを実現するために中心的に取り組むべき林務行政は何かをレポートとしてまとめる。

■ 受講条件(任意入力)

受講のルール(任意入力)

教科書(購入する必要のある図書)(必須入力)

教科書1	書名	—		ISBN	
	著者名	—	出版社	—	出版年
教科書2	書名			ISBN	
	著者名		出版社		出版年

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)

参考書1	書名	—		ISBN	
	著者名	—	出版社	—	出版年
参考書2	書名			ISBN	
	著者名		出版社		出版年

教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

県独自の資料を配付

オフィスアワー(必須入力)

月曜～金曜 8:30～17:15(ただし、行政担当は多岐に渡るので、質疑には林業研究センターで承るが、即答には至らないことを了解すること。担当教官に直接尋ねる場合は愛媛県庁へ)

連絡先(必須入力)

参照ホームページ(任意入力)

<http://www.pref.ehime.jp/h35700.html>(愛媛県公式HP)

その他(任意入力)